

第 72 回公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会全国大会

第 44 回日本医療社会事業学会

大分大会

開 催 要 綱

【大会概要】

テ ー マ：近未来型の MSW を追う～新時代のエントランスに立って～

会 期：2024 年 6 月 15 日（土）～16 日（日）

会 場：J:COM ホルトホール大分（大分県大分市金池南一丁目 5 番 1 号）
ハイブリッド及び現地開催

大 会 長：脇坂 健史
（社会医療法人帰巖会白杵病院／大分県医療ソーシャルワーカー協会会長）

主 催：公益社団法人 日本医療ソーシャルワーカー協会
一般社団法人 大分県医療ソーシャルワーカー協会

【プログラム】

OITA-Keynote Speech-1 <基調講演> 会場実施+ライブ配信

映像の眼差し ～見て、見られて生きてゆく～

講師：小西 遊馬（ドキュメンタリー作家・映像ジャーナリスト）

座長：脇坂 健史（大分県医療ソーシャルワーカー協会 会長）

ロヒンギャ難民を取材した『The scars of genocide』は、国際平和映像祭 2019 でグランプリ等の三冠受賞。フィリピンのホームレス親子を追った『Just Love』は、ロンドン映画祭をはじめ複数のコンテストで受賞。香港民主化デモを撮影した『Soul of Hong Kong』は香港国家安全維持法が適用され廃業となった“蘋果日報”と“立場新聞”に取り上げられた。また、ロシアによるウクライナ侵攻時には、他のメディアに先んじて最前線のキーウに入る。そこで記録した『2022 03/12-03/29』をHP上に公開し、人々の“生”を届けた。小西氏は、被写体と同じ時間、同じ場所、その瞬間に生じた言葉や思いを“リアル”として捉える。誰かの解釈やプロパガンダ、善悪や審判的な意味が付与される前の“リアル”。ドキュメンタリー作家小西遊馬氏の目と映像を通した世界観から、人の生を読み解く。

OITA-Keynote Speech-2 <特別講演> 会場実施+ライブ配信

TOYOTAが想像（創造）する未来の環境と社会（仮）

講師：株式会社 TOYOTA ヘルスケア事業部

座長：今尾 顕太郎（大分県医療ソーシャルワーカー協会 副会長）

未来に向けてモビリティカンパニーへのフルモデルチェンジを進めている TOYOTA。もはや、車を作るための集団ではない。そして変化の視座の中に、ひとの暮らしと健康がある。日本を代表する企業が、ひとの暮らしや存在に注目しつつ多角的な切り口とアイデアで想像し創造する近未来とは？そして、私たちは、今ある状況のみに注目して対処するプラグマティックな機能を超えて、未来を想像して機能をアップグレードできる専門家になる必要がある。この Keynote を通して、そのための思考回路を開発する。

JASWHS-Keynote Speech-1 <教育講演> 会場実施+ライブ配信

がん・循環器病対策について

講師：西嶋 康浩（厚生労働省 健康・生活衛生局 がん・疾病対策課 課長）

戸石 輝（厚生労働省 健康・生活衛生局 がん・疾病対策課 相談支援専門官）

座長：岡村 紀宏（公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会 副会長/社会医療法人恵和会 西岡病院）

厚生労働省は、令和5年3月に閣議決定された「第4期がん対策推進基本計画」、「第2期循環器病対策推進基本計画」等に基づき取組を進めています。これらの国の計画等に基づき、各都道府県で計画策定が進められており、医療ソーシャルワーカーが議論に加わっている事例もあります。

この度、厚生労働省の西嶋 康浩 先生、戸石 輝 先生を大分県にお招きし、がん対策・循環器病対策について講演いただきます。厚生労働省の方が開催地で講演いただくのは令和元年度の神奈川大会以来、5年ぶりです。ぜひ会場で活発な議論をしましょう。

JASWHS-Keynote Speech-2 <記念講演> 会場実施 (Zoom ライブ中継) + ライブ配信

人生をあきらめない—アルコール依存症の回復とチャレンジ (仮題)

講師：山口 達也 (株式会社山口達也 代表)

座長：山本 琢也 (大分市医師会立アルメイダ病院 医療ソーシャルワーカー)

飲酒がもとで内科の入院を繰り返していた山口達也さん。2年前に依存症予防教育アドバイザーを取得後、アルコール依存症であることを公表し、自らの回復体験をふまえ全国で講演されています。山口さんのアルコール依存症からの回復体験を聴き、一般医療機関における依存症支援の重要性と人生のチャレンジについて共有していきましょう。

(参考)

「株式会社山口達也」

<https://yamaguchi-tatsuya.co.jp/>



OITA-Session-1 <鼎談> 会場実施+ライブ配信

既存フレームを Breakthrough 近未来のソーシャルワークとは

鼎談者：胡内 敦司 (子ども家庭庁 支援局家庭福祉課 企画調整官)

川村 涼太郎 (子ども家庭庁 こども家庭審議会 児童虐待防止地域部会委員)

モデレーター：井元 哲也 (大分県医療ソーシャルワーカー協会 前会長)

次年度新たに創設される子ども家庭ソーシャルワークの資格。子どもの将来を明るくものにするには、ソーシャルワーカーは何を知り、何を考えていくべきなのだろうか。本 Session では、子どもの幸福について様々な角度から発信し、社会変革に取り組んできた子ども家庭庁胡内敦司氏と、大分県で若手ソーシャルワーカーとして子ども支援に取り組む川村涼太郎氏にご登壇いただき、子ども支援とソーシャルワークの現在地と未来図について、井元哲也氏のモデレートで明るみにする。

OITA-Session-2 <シンポジウム> 会場実施+ライブ配信

価値創りへの挑戦！起業ソーシャルワーカーが見る近未来の可能性

シンポジスト：田中 大悟 (株式会社ケアモンスター 代表取締役)

モデレーター：中川 美幸 (西南女学院大学 保健福祉学 部福祉学科 講師)

元 MSW は、何を考え、何を目指して起業ソーシャルワーカーとなったのか？道なき道を踏破してきたその眼には、今、何が見えているのか。起業ソーシャルワーカーとして活躍し続ける株式会社ケア・モンスター田中大悟氏の軌跡とエッジの立った Question を足掛かりに、ソーシャルワーカーの経験と情報が社会的に価値の高いものであることを再認識する。さらに、その意義を捉えなおすことで新たな価値の創造となり、やがて近未来ソーシャルワーカーの姿や可能性が見えてくる。元 MSW の中川美幸氏のモデレーションでその進化を体験する。

OITA-Session-3 <シンポジウム> 会場実施+ライブ配信

次世代に医療ソーシャルワーカーのスピリッツを伝える教育のあり方
～ソーシャルワーカーの業務マネジメントの視点から～

シンポジスト：保正 友子（日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授）
北嶋 晴彦（大牟田市立病院/福岡県医療ソーシャルワーカー協会副会長）
國吉 安紀子（おゆみの中央病院）
太田 聡子（甲州リハビリテーション病院/山梨県医療ソーシャルワーカー協会会長）

新人や後輩の教育に戸惑いを覚えるソーシャルワーカーの方は少なくないのではないのでしょうか。目に見えないけれども大切なこと、つまり「医療ソーシャルワーカーのスピリッツ」を伝え続ける必要がある一方で、教育面でのマネジメントが十分に実施できずに、どこかスッキリしない方もいることでしょう。そこでこのシンポジウムでは、次の世代に医療ソーシャルワーカーとしてのスピリッツをどのように伝えているのかを、3人のシンポジストのマネジメント実践に基づき、皆さんと一緒に考える場にしたいと思っています。

OITA-Session-4 <シンポジウム> 会場実施+ライブ配信

宇宙産業の視点で考える、人間社会とウェルビーイング ～歴史・現在・未来～

シンポジスト：片山 俊大（一般社団法人スペースポートジャパン 共同創業者・理事）
伊藤 弥生（大分県商工観光労働部 先端技術挑戦課 宇宙開発振興班 主任）
座 長：今尾 顕太郎（大分県医療ソーシャルワーカー協会 副会長）

大分空港宇宙港プロジェクトの仕掛け人である一般社団法人スペースポートジャパンの片山俊大氏と、プロジェクトの推進役である大分県商工観光労働部先端技術挑戦課にご登壇いただく。宇宙産業はWeb3とともに新たな社会と価値を創出する。世界では Society 5.0（内閣府）や Industry 5.0（欧州委員会）が提唱され、すでに新時代に突入していることを示し、改めて人が中心であることが謳われている。このセッションでは宇宙産業に基軸を置きつつ、新たな社会におけるウェルビーイングを考察する。

OITA-Session-5 <シンポジウム> 会場実施

「誰一人取り残されないデジタル共生社会の実現」
～ICT（アバター、メタバース、デジタルツイン）活用での病氣療養中の子どもの笑顔～

シンポジスト：林 充宏（一般財団法人ニューメディア開発協会 新情報技術企画グループ グループ長）
座 長：妻川 真理子（大分県医療ソーシャルワーカー協会）

入院や難病治療、その他多様な事情で学校にいけない子どもたちと学校や他者を、ICT 技術（アバターやメタバース、デジタルツイン）を駆使しながら繋ぐプロフェッショナルの林充宏氏。全国の支援学校と協力し、子どもたちの学びや経験の機会を創出することに心血を注ぐ林氏は「ICT は道具である。上手く使うことで、子どもたちのコミュニケーション力が醸成され、自信を得て、社会で活躍する可能性が広げられる」と語る。ここにソーシャルワークの心を見る。目的は普遍的でありつつ最新の手段を選択できるソーシャルワーカーの姿を創造する。

JASWHS-Session-1 <シンポジウム> 会場実施+ライブ配信

「身寄りのない人」が対象ではなく、個人をスタンダードに身元保証問題を考える。

シンポジスト：大分県弁護士会 推薦者予定

権利擁護支援地域連携ネットワーク 推薦者予定

公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会 推薦者予定

座長：身元保証人問題チームメンバー

2019年5月に厚生労働省より「身寄りがいない人の入院及び医療に係る意思決定が困難なひとへの支援に関するガイドライン」発出されたが、入院入所に身元保証人が求められる状況は続いており、きっかけとなった身元保証等高齢者サポート事業の数は減らず、現状その監督官庁も決まってははいない。また身寄りという定義もあいまいな中、身寄りがいても医療同意権の様に本人以外に代理権がないこの状況の中、対象を「身寄りのない人」とするのではなく、身元保証を前提とする社会の在り方に対して、すべての個人が何かが起きた時に、どのような仕組みが必要なのかという視点でこの問題を考えたい。

JASWHS-Session-2 <シンポジウム> 会場実施+ライブ配信

在宅医療分野におけるMSWの可能性

シンポジスト：西出 真悟（オレンジホームケアクリニック）

高橋 勝（関愛会 大東よつば病院）

吉川 晴子（いしが在宅ケアクリニック）

齋藤 慶子（ゆみのハートクリニック）

座長：西岡 大輔（大阪医科薬科大学）

田上 幸輔（医療法人財団老蘇会 静明館診療所）

少子高齢、多死社会の進展に伴い、在宅医療分野におけるMSWの配置は増加し続けている。特に人生の最終段階に関わることの多い在宅医療分野において、患者のニーズが多様化しているだけでなく、複雑な社会課題に対して、MSWに期待されている役割は大きい。ACPに基づいた本人主体のケアをベースにしつつ、地域事業者との多職種連携による診療の質の向上、さらには地域包括ケアシステム実現に向けた地域アプローチまでその活動の幅は多岐にわたる。今回は在宅医療におけるMSWの研究を元に、実践者と今後の在宅医療のMSWについてディスカッションを行う。

JASWHS-Session-3 <セミナー> 会場実施

ソーシャルワーカーのためのデータ活用 セミナー ～実践のデータ化を目指そう～

講師：西岡 大輔（大阪医科薬科大学 医学研究支援センター医療統計室 講師）

演者：西出 真悟（オレンジホームケアクリニック ソーシャルワーカー）

原田 とも子（社会医療研究所 ソーシャルワーク・アドバイザー）

私達には日々の実践の省察や利用者の権利を守る活動が求められます。その方法として事例検討・報告は効果的ですが、事例報告だけでは組織・社会の変革は十分に進みません。そのようなときに支えになるのが定量的なデータです。現場では「実践をデータ化するとは？」「データをどうやって活用する？」と感じている人もいます。そこで、初任者でもわかるデータ活用のレクチャーと当協会の会員情報のデータ化の取り組みを報告します。データを用いて組織や社会にはたらきかけたい方、学会発表を目指したい方はぜひご参加ください。

JASWHS- Session -4 <講演> 録画配信

ハンセン病回復者の方の今

演者：ハンセン病回復者 他

療養所を退所され、地域で暮らす回復者の方々の平均年齢所 80 歳を超え、ADL の低下から療養所の再入所を考える人が増えています。また、家族訴訟の勝訴後も、申請者の数は増えていない現実もあります。当事者や家族の声を聴かせていただく貴重な機会です。改めて私たちソーシャルワーカーが当事者の方々に何ができるのかを考える機会としてご視聴ください。

JASWHS- Session -5 <講演> 録画配信

ソーシャルウェルビーイングと医療基本法

～有意義な人生という真の「健康」のために、福祉職の業務基盤を確立する～

演者：患者の権利法をつくる会

当事者団体、関係団体、公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会

医療基本法の制定に向けて「患者の権利法をつくる会」が活動をしています。当協会及び都道府県 MSW 協会の多くが「医療基本法要綱案（医療基本法フォーラム版）に賛同しています。しかしながら、医療基本法制定運動が何を目指して活動しているのか、その中身を学ぶ機会のひとつとして、全国大会では医療基本法に関わる様々な団体の方々の声を聴く機会として、オンデマンド配信を行います。患者のソーシャルウェルビーイングに関する MSW としての意味を改めて意識できる企画です。賛同の有無にかかわらず、都道府県協会の役員はじめ会員の方々も組織として考える機会としてご視聴ください。

JASWHS- Session -6 <講演> 録画配信

救急医療におけるソーシャルワーカーのつどい

明日の高齢者救急に対して救急認定ソーシャルワーカーは何ができるか

～団塊の世代とどう向き合うか～

講師：定光 大海（救急認定ソーシャルワーカー機構 代表理事/医療法人社団 平野総合病院 救急センター長 統括顧問）

渡邊 徹宗（JA 愛知厚生連 江南厚生病院 ESW）

坂田 智子（日本赤十字社 京都第二赤十字病院 ESW）

福森 優司（大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター ESW）

2025 年団塊の世代が 75 歳となり単身高齢者の救急搬送が今後も増加することが予測される。令和 6 年度診療報酬改定においても高齢者救急の変革期を迎え、救急領域で働くソーシャルワーカーには、より専門的な知識と技能が求められている。医師の立場から講演いただくとともに、救急認定ソーシャルワーカーの実践報告から単身・身寄りなし・頻回な救急搬送・帰宅困難な軽症患者・アルコール依存を抱えたソーシャルハイリスクの対象者とどう向き合い、今後どうあるべきなのか。救急認定ソーシャルワーカーの奮闘を報告したい。

OITA-Workshop-1 <ワークショップ> 会場実施

これからのターミナル期のアプローチ（仮題）

講師：上白木 悦子（大分大学大学院 教授）

人生の最期を迎える人々にも未来が無いわけではない。“今ここ”で生きていることは、瞬間を重ねて、命を紡いでいる。生きとし生けるものにとっては一瞬先であってもまさに未来であり、そこにはウェルビーイングも QOL もあるはずである。そして、見送られる人、見送る人双方に目を向けたソーシャルワークは、未来志向である。刹那の未来、そこにあるソーシャルワークを大分大学大学院教授の上白木悦子氏のワークショップを通して体感する。

OITA-Workshop-2 <ワークショップ> 会場実施

ソーシャルワーカーの思考過程を表在化し UP-DATE する（仮題）

講師：日和 恭世（別府大学 准教授）

ソーシャルワークは、これまでの歴史から作り上げてきた、価値や倫理、理論やスキルが数多く存在している。そこには、専門家としての役割に則った形が存在するのだが、それは一つの結論としての形とも言える。しかし、ソーシャルワーカー自身の思考過程、いわゆるソーシャルワーカーが行動を起こすための結論に至るまでの思索については、あまり焦点化されてこなかった。今回、別府大学准教授である日和恭世氏に力を借りて、ワークショップという手法を通してその領域にチャレンジする！

JASWHS-Workshop-1 <ワークショップ> 会場実施

認定医療ソーシャルワーカーおよび認定社会福祉士の申請に向けて ～ケースメソッドを用いた自身の SW 実践の省察～

講師：調整中

日本医療ソーシャルワーカー協会の認定医療ソーシャルワーカーおよび認証認定機構による認定社会福祉士の申請課題作成においては、「自身の SW 実践の特定場面を SW の価値・倫理・SW 理論を用いて省察し、これを言語化すること」が求められ、また、これは実践でも有効な過程となる。

そこで、本企画は双方の認定資格取得をサポートするために、レポート課題に取り組むための考え方、ポイントについて「ケースメソッド」の方法を用いて理解を促進することを目標としている。本企画に参加し、我々の SW 実践力の証明である双方の認定資格取得にチャレンジしてみませんか？

JASWHS-Workshop-2 <ワークショップ> 会場実施

リカバリー・カフェ

**座長：左右田 哲（北里大学病院 医療ソーシャルワーカー）
野村 裕美（同志社大学 教授）**

話題提供者：調整中

これまで日本医療ソーシャルワーカー協会が実施してきた依存症支援研修に参加された方々との交流の場となります。

「ケア・カフェ®」の方法を取り入れています。リラックスした空間で、4、5人のグループに分かれてテーマにそったダイアログを楽しみ、インスピレーショントークに耳を傾けながら、参加者みんなで見える「アル眼鏡」を持ち寄り「見ようとなしないと見えない課題」から目をそらさず、顔の見える関係づくりと日頃のケアの相談場所を提供することを目指します。

Q 州-SPECIAL<シンポジウム> 会場実施

ソーシャルワーカーの未来を考えたことがあるか？

何を大事にしながら、何を未来図として描いていくべきなのか？

シンポジスト：九州医療ソーシャルワーカー協議会教育研修部

史上初の地域枠プログラム。全国でも先進的に県域を越えた協調体制を整えた九州地域各県の医療ソーシャルワーカー協会8団体。長い年月を経て歴史上最も強いつながりを持つに至っている。このQは、Quest（探求）であり、Quality（質）であり、Question（問い）であり、Qualification（資格）でもある？九州各県力を集結して、これまでに無い医療ソーシャルワーカーの未来図に挑む。

JASWHS-Project-1 <体験ブース> 会場実施

「あなたは飲める体質？飲めない体質？それとも？」アルコール体質判定体験ブース

アルコール体質判定テストを無料で実施します。依存症を身近な問題として経験することを通し、依存症支援の重要性を共有してみませんか。

JASWHS-Project-2 <体験ブース> 会場実施

日本医療ソーシャルワーカー協会会員サイト 会員登録情報入力ブース

日本医療ソーシャルワーカー協会では、ソーシャルワーカー情報のデータ化、領域別ソーシャルワーカーの検索・紹介、ソーシャルワーク専門別の活動・研究、協会活動の活性化を推進するために、会員情報のデータベースを構築し、様々な事業に活用する環境を整えました。皆様の会員データの更新により、協会活動がより一層パワーアップします。こちらのブースで入力ができますので、入力がまだの方は是非入力をお願いいたします！

<第44回日本医療社会事業学会> 口頭発表・ポスター発表・質疑応答 会場実施

<公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会第14回社員総会>

<全国会長会> 会場実施+Zoom ミーティング

プログラムは2024年1月15日現在のものです。

事情により変更する場合があります。

詳細については順次、大会ホームページにてお知らせいたします。

<https://www.midas-net.co.jp/jaswhs2024/>

参加登録のご案内

大会事務局からの委託により、株式会社マイダスコミュニケーションが大会に参加される皆様の受付を担当させていただくことになりました。皆様方のお越しを心よりお待ちしております。

事前参加登録

2024年2月5日（月）10:00～4月19日（金）23:59まで

通常参加登録

2024年5月11日（土）10:00～6月16日（日）12:00まで

<https://www.midas-net.co.jp/jaswhs2024/>

参加登録の申込は、上記の大会ホームページで承ります。

●大会参加登録

（全て税込）

会員 種別	事前参加登録期間（早割）（2/5-4/19）		通常参加登録期間（割引なし）（5/11-6/16）	
			決済方法に期限あり*3	
	参加費	現地参加・WEB参加	参加費	現地参加・WEB参加
会員 *1	10,000円	選択可 5/31の17時以降は変更不可	15,000円	5/31の17時までは選択可 それ以降はWEB参加のみの選択
非会員	14,000円			
学生 *2	3,000円		3,000円	

現地の定員に達した場合は期限前でもWEB参加となります。ご了承ください。

*1：会員は、日本医療ソーシャルワーカー協会、都道府県医療ソーシャルワーカー協会（都道府県医療社会事業協会）、日本社会福祉士会・日本精神保健福祉士協会・日本ソーシャルワーカー協会の会員となります。

入会申請中の方で各参加登録期間までに承認が間に合わない場合は非会員のカテゴリ対象となります。

*2：学生は、大会会期中に、以下のいずれかに該当している者としてします。

ア：大学・専門学校・短期大学における社会福祉士・精神保健福祉士養成課程に在籍中の者

イ：社会福祉専攻の大学院に在籍中の者

ただし、大会にて発表・登壇予定の者にあつては、大会抄録集掲載の所属に従って申し込むこと。

※参加登録時に、学生証の画像をアップロードが必要です。参加登録後の自動返信メールにて、画像アップロード方法をご案内します。

*3：銀行振込を御希望の方は、6月7日（金）17:00までに入金確認ができるようにお振込みください。

6月7日（金）17:00以降は、クレジットカード決済のみのお取り扱いとなります。ご注意ください。

●事前申し込みが必要なプログラムの参加について

一部のプログラムは、準備の都合上事前申し込みが必要です。大会参加登録と一緒に参加登録フォームよりお申込みください。詳細が決まり次第、大会サイトでご案内します。 ※参加費：無料

●交流会

第1日目 6月15日(土) 19:00より、会場近隣にて交流会を実施する予定です。大会参加登録と一緒に参加登録フォームよりお申込みください。詳細が決まり次第、大会サイトでご案内します。

●ライブ配信・オンデマンド配信のご案内

【ライブ配信 2024年6月15日(土)～6月16日(日)】

- ・一部ライブ配信が無いセッションもございます。
- ・分科会演題はライブ配信がなく、質疑応答も現地参加のみとなります。

【オンデマンド配信 2024年6月15日(土) 13:00～7月31日(水) 23:59】

- ・一部、オンデマンド配信のみのプログラムは、6月15日(土) 13:00より配信いたします。
- ・当日ライブ配信を行うプログラムは、大会終了後、準備が整い次第、オンデマンド配信をいたします。
- ・一部オンデマンド配信が無いセッションもございます。

※オンデマンド配信は、参加者に限り配信期間中 いつでも・どこでも・何度でも専用ページにて視聴ができる配信のことを指します。大会期間中ご予定が合わない場合にも、後日プログラムの視聴が可能となります。

●申し込みの流れ

【参加登録申請】

大会ホームページの参加登録フォームに必要事項を入力しお申し込みください。

※注意事項※

- ・1メールアドレスに対して、1回までの登録となります。同じメールアドレスでの複数登録は出来ません。
- ・決済終了後の会員種別の修正は出来ません。修正をご希望の場合は参加登録デスクまでご連絡ください。

ご不明な点がございましたら、参加登録デスクまでご連絡ください。

【参加費のお支払い】

各項目登録完了後、参加費のお支払いページに遷移しますので支払い手続きをお願いいたします。支払方法は、クレジットカード決済、銀行振込のいずれかになります。銀行振込につきましては振込期限を設けておりますので下記をご確認ください。

■クレジットカード決済の場合

- ・VISA、Mastercard、AMEX、JCB、Diners Club をご利用いただけます。
- ・参加登録後、カード決済画面が表示されますのでそこから支払手続きを進めてください。

■銀行振込の場合

- ・2024年6月7日（金）17:00 までに入金確認ができるようにお振込みください。
- ・以降の振込みは受け付けておりませんので、クレジットカード決済をご利用ください。
- ・お振込時に、自動返信メールに記載されている管理 ID と氏名（カタカナ）を入金時にご入力ください。
- ・複数名分を一緒に振込される場合は、下記の参加登録デスクまで事前にご連絡をお願いします。
- ・銀行振込の送金手数料はお客様でのご負担となります。ご了承ください。
- ・入金確認にはお時間を要する場合がございますので予めご了承ください。

【参加登録完了】

お支払い手続き完了後に登録されたメールアドレスに自動返信メールが送付されます。本メールをもって参加登録完了となります。24 時間経ってもメールが届かない場合は、参加登録デスクまでお問い合わせください。

【マイページへアクセス可能】

参加登録完了後、マイページへアクセス可能となります。アクセス方法は、参加登録完了時の自動返信メールに ID と PASS を記載しておりますので、メールの内容をご確認ください。

【参加証・参加証明書・領収書について】

参加証・参加証明書・領収書は郵送いたしません。6月4日（火）10:00～マイページよりダウンロードできますのでそちらをご利用ください。会場受付で参加証の半券を回収いたしますので、各自印刷した参加証を必ず当日会場へお持ちください。会場受付での密を避けるため、ご協力お願いいたします。なお、参加証明書・領収書の発行は2024年7月31日（水）までです。以降は発行できなくなりますのでご注意ください。

●抄録集の発送について

■事前参加登録期間（早割）（2/5-4/19）にご登録いただいた方

- ・抄録集は5月下旬頃発送いたします。また、抄録のPDFデータが整い次第、メールで閲覧方法をご案内いたします。

■通常参加登録期間（割引なし）（5/11-6/16）にご登録いただいた方

- ・5月31日の17時までにお申込み・ご入金を確認できた方には、6月7日頃に抄録集を発送いたします。また、抄録のPDFデータが整い次第、メールで閲覧方法をご案内いたします。
- ・5月31日の17時以降にお申込み・ご入金された方は、抄録はPDFで閲覧できるようにメールで閲覧方法をご案内いたしますが、抄録集は下記のようにお渡しいたします。
 - 現地参加をされる場合：抄録集は現地でお渡しいたします。
 - WEB参加をされる場合：抄録集は会期後に発送いたします。

●変更・キャンセルについて

【変更について】

5月31日（月）17時までは、マイページ内の「登録情報の変更」ページよりご自身で登録情報の変更が可能です。ただし、会員種別の変更および懇親会の追加申し込みはWEB上では受付できません。変更、追加されたい場合は、参加登録デスク（jaswhs2024@midas-net.co.jp）までご連絡ください。

抄録集発送の都合上、5月31日の17時以降に住所変更をされる方はメールでご連絡ください。

【キャンセルについて】

入金後のキャンセルは、4月19日（金）17時までにご連絡をいただきましたら、ご入金額から1,000円の事務手数料を引いた額を返金いたします。

4月19日（金）17時以降のキャンセルはご返金出来かねます。予めご了承下さい。

また、虚偽の申請あるいは学会開催中に迷惑行為などが発覚した場合は、参加権利が取り消され、一切返金できませんのでご了承ください。

●お申し込み・お問い合わせ先

第72回公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会全国大会

参加登録デスク

株式会社マイダスコミュニケーション

〒870-0023 大分県大分市長浜町2-7-22

TEL：097-578-7731（受付時間：平日9時～18時）

E-MAIL：jaswhs2024@midas-net.co.jp